



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2017年6月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomono-mori.net> <mailto:info@kodomono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



写真は、東京の中目黒駅前保育園さんの“どんぐり”の写真です。

同園は、高層マンションの中にあり、園庭等はありませんが様々な工夫の中で活動を継続され、子どもたちに自然と命の体験を提供されておられます。

子森通信今月号では、そんな中目黒駅前保育園さんをはじめ、全国の素晴らしい活動をあらためてご紹介するJP子どもの森づくり運動「活動10周年記念事業」をご案内しております。是非、ご参加下さい。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動「活動10周年記念事業参加園募集」のご案内
2. JP子どもの森づくり運動 普及・広報活動レポート
3. 事務局からのお知らせ

●新・どんぐり博士の育苗講座(2017年6月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 国土緑化推進機構

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(公社) 大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(一社) 日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. J P子どもの森づくり運動「活動10周年記念事業」参加園募集のご案内

今月号から、J P子どもの森づくり運動「活動10周年記念事業」をスタートします。

皆様と共にこれまでの活動をふり返し、その成果を「10周年記念冊子」（以下、記念冊子）に掲載、あらためて素晴らしい活動をご紹介したいと思います。皆様にご参加いただきたい活動は以下のとおりです。

活動の詳細や参加方法については、今月より順番に別紙チラシにてご案内します。

NO	活動名	活動内容	募集期間
1	J P子どもの森づくり運動 ぼくの木、わたしの木を知ろう！ 調査活動	子どもたちがいつも親しんでいる森の木を知ることは、生物多様性学習においてとても重要なこと。本活動では、筑波大学の協力を得て、“どんぐり”の母樹のルーツを遺伝子レベルで調査する活動に取り組みます。	○第一次募集期間 2017年7月～9月 (別紙募集チラシ ご参照)
2	J P子どもの森づくり運動 保育ドキュメンテーション 作品募集	J P子どもの森づくり運動の地域での活動、及び東北復興グリーンウェイにおける、“どんぐり”を拾う、育てる、植える活動を題材とした保育ドキュメンテーション作品を募集します。作品は記念冊子に掲載すると共に、「エコプロ2017」においても作品展を開催予定です。	○第一次募集期間 2017年7月～12月 (詳細は、子森通信 来月号にてご案内)
3	J P子どもの森づくり運動 “どんぐり”同窓会	J P子どもの森づくり運動で植えられた木の成長は、子どもの心の成長のスケールです。地域での活動に参加してくれた卒園児、保護者に呼びかけ、同窓会として最初に植樹した“どんぐり”の木を見に行き活動をふり返ります。さらに、在園児を参加させることで、子どもたち、職員、保護者が活動に込めた願いが引きつがれます。	○第一次募集期間 2017年7月～12月 (詳細は、子森通信 9月号にてご案内)
4	J P子どもの森づくり運動 オリジナル環境学習 プログラム集づくり	J P子どもの森づくり運動10年間の活動事例をベースに、幼児（少）期の子どもたちを対象とするオリジナルの自然体験・環境学習プログラム集づくりを目指します。	2017年7月 ～2019年2月 (事務局企画)

2. J P子どもの森づくり運動 普及・広報活動レポート

1) 「みどりとふれあうフェスティバル2017」ステージイベントに出演しました。

2017年5月13日（土）に、日比谷公園にて開催された「第27回みどりの感謝祭 みどりとふれあうフェスティバル」のステージイベントに、「東北復興グリーンウェイブ」のアンバサダー「どんぐり〜ず」が出演しました。ステージタイトルは「ゆるキャラ大集合！唄って踊って、東北の森を応援しよう！」。「どんぐり〜ず」の指導で、くまモン（熊本県）、ぐんまちゃん（群馬県）、チーバくん（千葉県）などのゆるキャラと一緒に「東北復興グリーンウェイブ」のテーマソング“♪どんぐりえがお”をみんなで踊りました。



2) 「ロハスデザイン大賞2017」新宿御苑展に出展しました。

J P子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」では、今年も環境活動アワード「ロハスデザイン大賞」にエントリーし、2017年5月19日（金）～21日（日）の期間で開催された決勝大会「新宿御苑展」会場にパネル掲示されました。今年のエントリーテーマは、岩手県山田町における、地元男性保育士グループ「男心会」を主体とする「“しいたけ”の森」づくりです。“しいたけ”栽培は、山田町の復興産業の一つですので、「東北復興グリーンウェイブ」の活動が被災地の復興に貢献します。ちなみに、今年の「ロハスデザイン大賞」のテーマは“みんなでつくるローカルデザイン”ですので、アワードのテーマに沿ったエントリーテーマとしました。残念ながら、今年は受賞は逃しましたが、多くの来場者に活動を知っていただく、とても良い機会となりました。



3. 事務局からのお知らせ

1) 「ナツオワ（夏の終り）キャンプ2017」参加者募集

昨年、関東・甲信越ブロック企画として、山梨県河口湖で行われた「ナツオワ（夏の終り）キャンプ」を、今年は、関西・北陸ブロックを対象に、福井県大野市「前坂キャンプ場」で行います。会場は、九頭竜川に育まれた自然いっぱいのキャンプ場です。デイキャンプと宿泊バージョンの二つがありますので、キャンプ初心者の方でも気軽にご参加いただけます。この機会に是非、ご参加願います。

<実施概要>

- ・日時：・日程：2017年8月26日（土）、27日（日）
- ・会場：「前坂キャンプ場」（福井県大野市前坂）
- ・参加費

○デイキャンプ参加：大人（中学生以上）1,500円 小学生1,000円 園児無料

○キャンプ参加：大人（中学生以上）3,000円 小学生以下2,000円 園児無料

応募の詳細は、ホームページをご覧ください。⇒ <http://www.kodomo-mori.net>



2) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のコンテンツが更新されています。

＊視聴方法：「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomo-mori.net>)

⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

左記のQRコードからもご覧いただけます。



●新・どんぐり博士の育苗講座（2017年6月号）～緊急！猛暑予想～

沖縄地方を除き梅雨のど真ん中ですが、梅雨らしくない地域も多いですね。やっぱり天候がおかしいです。そんな中この夏は猛暑になるとの予報が聞こえてきました。

予報が当たるかわかりませんが、猛暑の対策を確認します。

どんぐり博士：河内和男（子森ネット・森林インストラクター）



先月は平年並みの梅雨を予想し、根腐れ防止のため、水のやり過ぎがないようにと注意を促しました。でもここまでの梅雨は雨の少ない地域が多かったようで、若い苗が水不足で枯れてしまわなかったか心配しています。梅雨に続く夏もどうなるかわからないのですが、苗にとって最も厳しい猛暑の場合の対処法をまとめます。

猛暑、晴れて最高気温が35℃程度まで上がる日が、数週間続くような天候です。さらに、夕立のような雨も降らない場合が、植物にとって最も厳しい夏になります。夏の苗管理の基本は、苗付近の気温を抑える工夫をするのと、人間が汗をかくて体温を下げるのと同じように植物も水分を葉から蒸発させて体温を下げるので、苗も脱水状態にしないことです。

そのための一番の注意は、夏の炎天下の光に当てないということです。植物にとって光は大切ですが、若い苗にとって、真夏の炎天下にさらすと焼けて干上がってしまいます。光は朝の内かせいぜい午前10時頃まで当たれば十分です。夕方の強い西日もあまり良くありません。では具体的対策を以下に記します。猛暑の場合いずれかの対策を実施してください。

- ① 風通しと水はけの良い場所に、遮光ネットで屋根をつくり、苗を保管する。
- ② 葉がしっかりと茂った大きな木の下に保管する。地面の水はけと風通しに注意。
- ③ 建物の北側で直射日光は当たらないが、空が広く見える風通しの良い場所に置く。

水は朝にたっぷり与え、乾燥がひどい際には、直射日光が当たらない状態で随時水を与えてください。天候の具合も見ながら与えすぎにも注意してください。